

神奈川県立がんセンター特定事業の客観的評価の公表

神奈川県立がんセンター特定事業の事業者の選定を行いましたので、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(以下「PFI法」という。)第8条の規定に基づき、事業者選定における客観的な評価をここに公表します。

平成22年3月17日

神奈川県病院事業管理者
病院事業庁長 堺 秀人

1 落札者

大林組・ニチイ学館グループ

(グループ代表者)(株)大林組 横浜支店

(グループ構成員)(株)ニチイ学館

(協力企業)相鉄建設(株)

(協力企業)(株)日本設計

2 落札者決定の経緯

PFI法及び総合評価一般競争入札の手続きに従い、あらかじめ公表した落札者決定基準に基づき、神奈川県PFI事業者選定審査会において審査が行われ、優秀提案者に選定された事業者を落札者として決定しました。

審査の詳細は、「神奈川県立がんセンター特定事業提案審査講評(神奈川県PFI事業者選定審査会)」(平成21年12月24日公表)のとおりです。

3 病院事業庁が直接実施する場合の公共負担額と民間事業者の提案に基づく公共負担額の比較

(1) VFM検討の前提条件

選定する民間事業者の事業計画に基づくVFM(Value For Money)の算定にあたって設定した主な前提条件は、表1のとおりです。

項目	値	算出根拠
割引率	2.6%	割引率は過去10年の10年物国債の利回りをインフレ率で調整し、2.6%とした。
物価上昇率		割引率に含む。
リスク調整費	96百万円	病院事業庁から民間事業者に移転するリスクの中から工事遅延リスク、食中毒発生リスク、患者情報流出リスクといった特徴的なリスクを抽出し定量化した。

(2) 事業費などの算出方法

本事業を病院事業庁が直接実施する場合及びPFI手法により実施する場合の財政負担額の算定に用いた事業費などの算出方法は、表2のとおりです。

表2 事業費などの算出方法

項目	PSCの費用の項目	PFI-LCCの費用の項目	算定根拠
病院施設等整備にかかる費用の算出方法	病院施設の開業費（工事監理費等） 除却工事費 建設費 医療機器・備品等整備費	サービス購入料1（設計業務・建設業務、医療機器・備品等調達業務）の元本 サービス購入料4（開業準備業務、旧がんセンター解体除却業務、最終引渡しの敷地での駐車場等整備業務）	【PSC】 関係事業者からの参考見積り、ヒアリング及び現在のがんセンターの事業実績を参考に算出した。 【PFI-LCC】 落札者の提案内容を踏まえて算出した。
病院施設の維持管理及び運営にかかる費用の算出方法	維持管理運営費 修繕費 病院事業庁の人件費	サービス購入料2（統括マネジメント業務、メディカルアシスタント業務、物流管理運営業務（リネン・滅菌物管理を除く）、清掃・廃棄物処理業務、植栽管理・外構清掃業務、保安警備業務、電話交換・館内放送業務、院内保育施設運営業務、施設設備保守管理業務（大規模修繕を除く）、医療機器保守点検業務） サービス購入料3（物流管理運営業務（リネン・滅菌物管理）、検体検査業務、患者給食提供業務） サービス購入料5（施設設備保守管理業務（大規模修繕））	【PSC】 関係事業者からの参考見積り、ヒアリング及び現在のがんセンターの事業実績を参考に算出した。 【PFI-LCC】 落札者の提案内容を踏まえて算出した。
資金調達にかかる費用の算出方法	病院債支払利息	サービス購入料1（設計業務・建設業務、医療機器・備品等調達業務）の支払利息	【PSC】 建設費及び医療機器・備品等整備費の財源には、病院債が80%充当されるものとし、償還条件は、建設費は償還期間20年間（据置期間なし）、医療機器・備品等整備費は償還期間5年間（据置期間なし）とし、病院債の利率は平成21年3月末の利率とした。 【PFI-LCC】 落札者の提案内容を踏

項目	PSCの費用の項目	PFI-LCCの費用の項目	算定根拠
			まえ、基準金利へ上乘せするスプレッドは1.200%とした。 なお、金利変動に基づくサービス購入料の改定による影響を考慮し、基準金利は、平成21年3月31日午前10時の6ヶ月LIBORベース20年物円金利スワップレートを採用し、1.763%とした（基準金利は、実際には6ヶ月LIBORベース5年物円金利スワップレートをを用いることとしているが、5年ごとの基準金利見直しによるサービス購入料1の支払利息増額リスクを加味した。）。

PSC : 病院事業庁が直接実施する場合の公表負担額

PFI-LCC : 民間事業者の事業計画に基づく公共負担額

(3) 選定する民間事業者の事業計画に基づくVFM

以上の条件によりPSCを算出したところ、病院事業庁が直接実施する場合の公共負担額は51,054百万円（消費税及び地方消費税を含まない。以下同様。）となり、これにリスク調整費96百万円を加算すると、PSC（現在価値ベース）は51,150百万円となります。また、PFI-LCC（現在価値ベース）は45,630百万円となります。

PSCとPFI-LCCを比較すると、民間事業者が実施するほうが、病院事業庁が直接実施する場合より、現在価値ベースで5,520百万円削減されます。

項目	値	備考
PSC（現在価値ベース）	51,150百万円	特定事業選定時から民間事業者の提案書提出時までの物価変動及び金利変動等を踏まえて、特定事業選定時に公表したPSCの額を見直した。
PFI-LCC（現在価値ベース）	45,630百万円	
VFM（金額）	5,520百万円	
VFM（割合）	10.8%	
使用した割引率	2.6%	特定事業選定時に使用した割引率を使用。